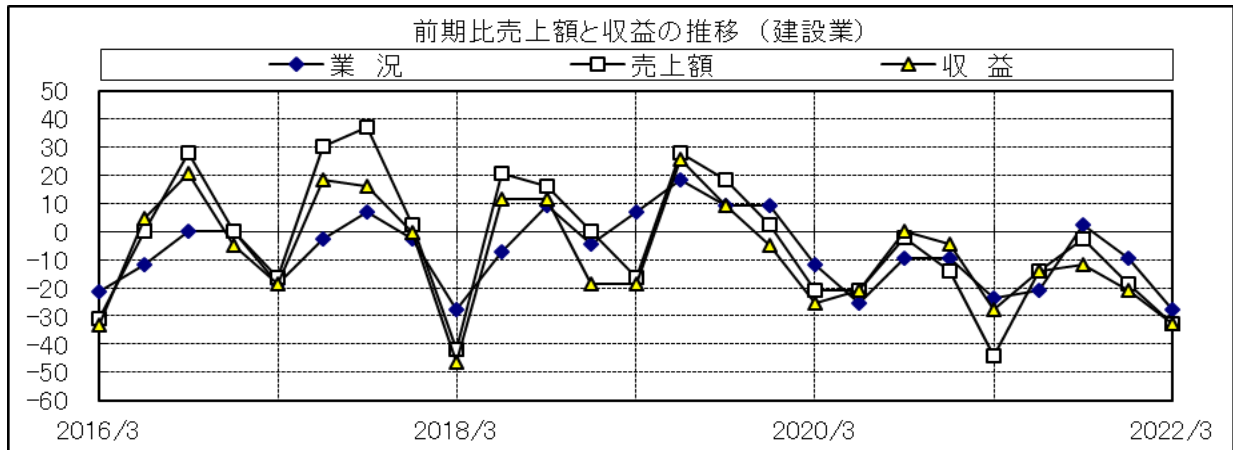


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	2.4	-9.3	-27.8	-20.9
売上額	-2.5	-18.6	-32.6	-4.7
収 益	-11.6	-20.9	-32.6	-9.3

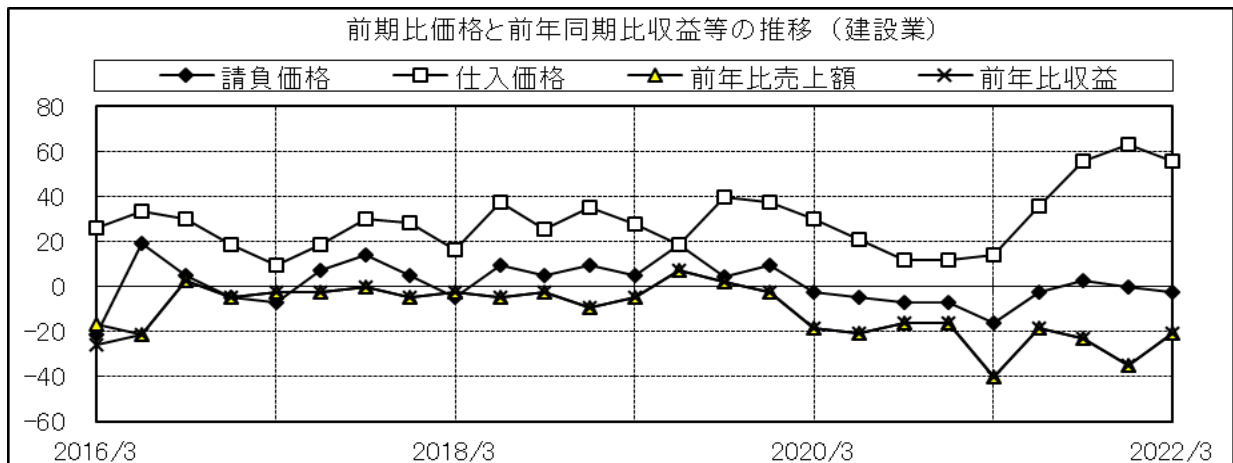
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 27.8$ で、前期比 18.5 ポイント下降。前年($\Delta 23.7$)比では 4.1 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、浦河が最も高く、次にえりも、様似、広尾、三石と続き、静内が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、 $\Delta 32.6$ で、前期比 14.0 ポイントの下降。収益判断 D. I. は $\Delta 32.6$ で、前期比 11.7 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
請負価格	2.3	0.0	-2.4	4.7
仕入価格	55.8	62.9	55.8	51.2

請負価格判断 D. I. は $\Delta 2.4$ で、前期比 2.4 ポイント下降。前年($\Delta 16.2$)比 13.8 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 55.8 で、前期比 7.1 ポイント下降し、前年(14.0)比 41.8 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-7.1	-16.3	-9.4	-11.7
人手状況	-23.3	-30.3	-18.7	-14.0

残業時間判断 D. I. は $\Delta 9.4$ で、前期比 6.9 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 18.7$ で、前期比 11.6 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

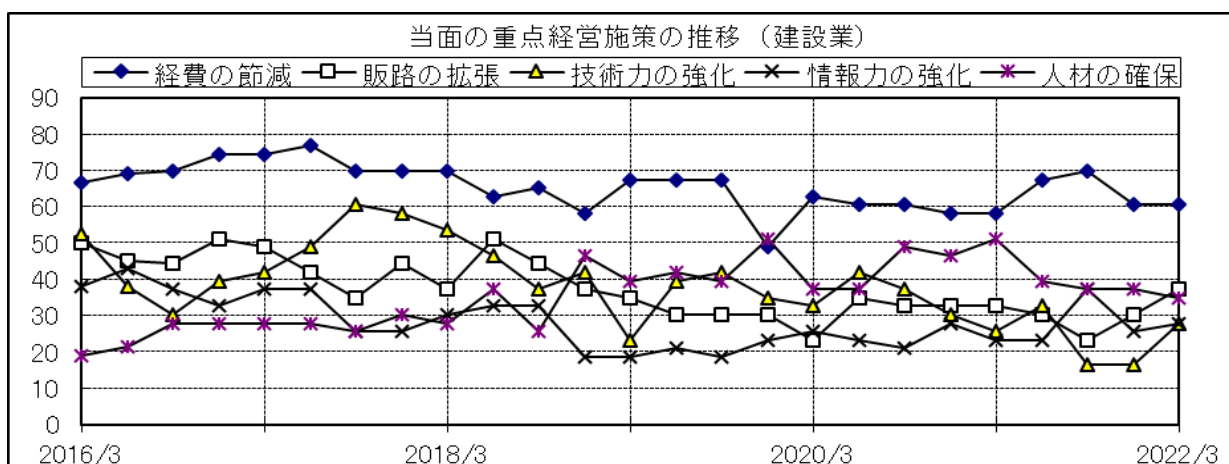
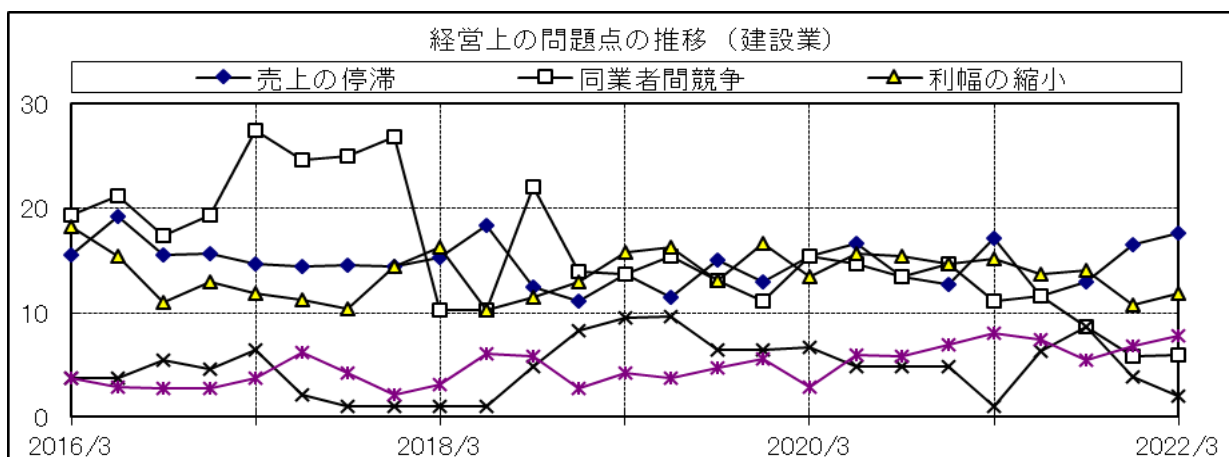
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 4.7$ で、前期(0.0)比4.7ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は9.3で、前期(4.7)比4.6ポイント上昇した。設備投資は、前期2社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が22.5%と最も多く、次に「売上停滞」17.6%、「人手不足」12.7%、「利幅縮小」11.8%、「地場産業衰退」7.8%、「同業者競合」5.9%、「下請確保難」4.9%、「技術力不足」・「天候不順」が3.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が60.5%と最も多く、次に「販路拡大」37.2%、「人材確保」34.9%、「情報力強化」・「技術力強化」が27.9%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 20.9$ と、今期比6.9ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 4.7$ と、今期比27.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 9.3$ と、今期比23.3ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は4.7と、今期比7.1ポイントの上昇を見通している。

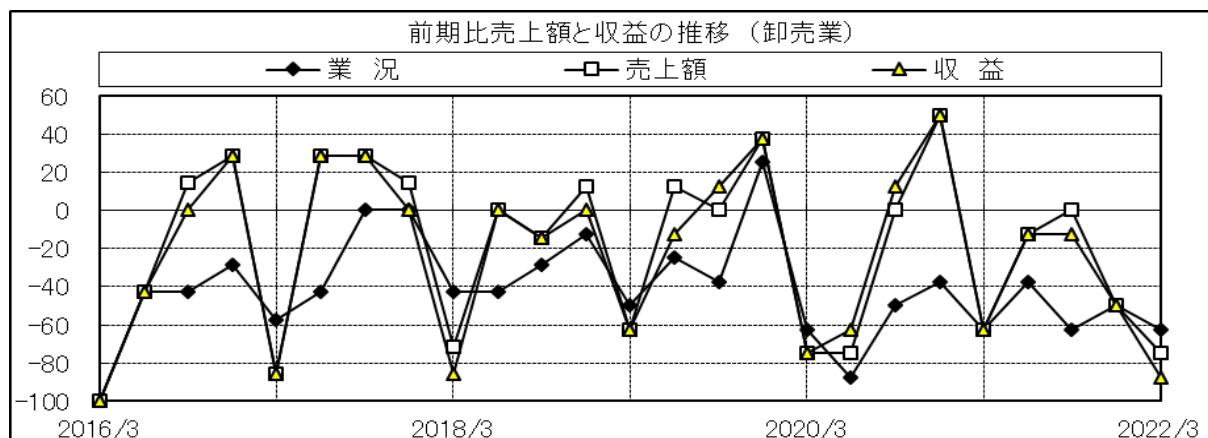
予想仕入価格判断D. I. は51.2と、今期比4.6ポイントの下降を見通している。

卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-62.5	-50.0	-62.5	-75.0
売上額	0.0	-50.0	-75.0	37.5
収 益	-12.5	-50.0	-87.5	37.5

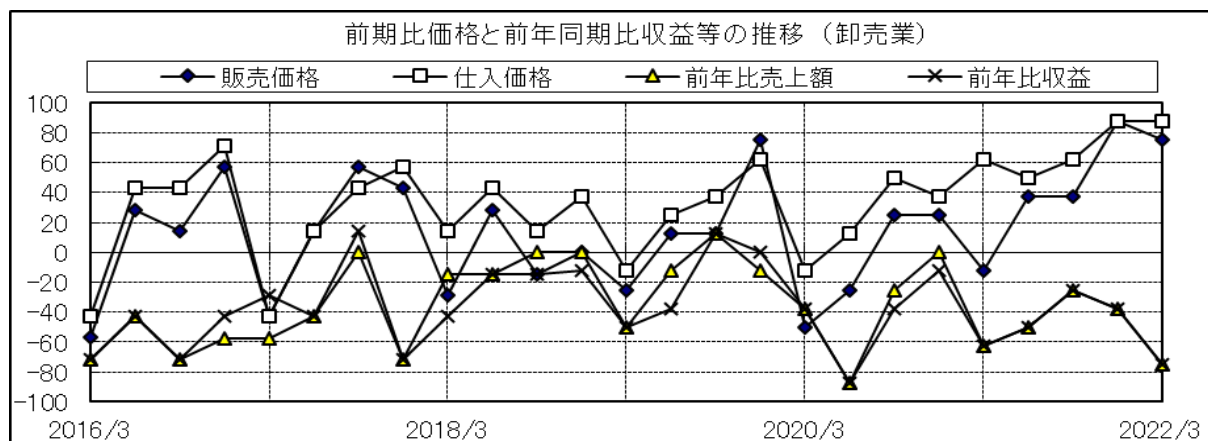
今期の業況判断 D. I. は△62.5 で、前期比 12.5 ポイント下降した。前年（△62.5）と同水準となった。地区別の水準は浦河、様似地区は横這い、静内地区は下降した。売上額判断 D. I. は△75.0 で、前期比 25.0 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△87.5 で、前期比 37.5 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	37.5	87.5	75.0	87.5
仕入価格	62.5	87.5	87.5	87.5

販売価格判断 D. I. は 75.0 で、前期比 12.5 ポイント下降した。前年（△12.5）比 87.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 87.5 で、前期と同水準となった。前年（62.5）比 25.0 ポイント上昇した。業種別では、水産業は、販売価格は下降、仕入価格は横這い。食品業は販売・仕入価格ともに横這いとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	0.0	25.0	0.0	0.0
人手状況	0.0	0.0	-12.5	-12.5

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 25.0 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△12.5 で、前期比 12.5 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

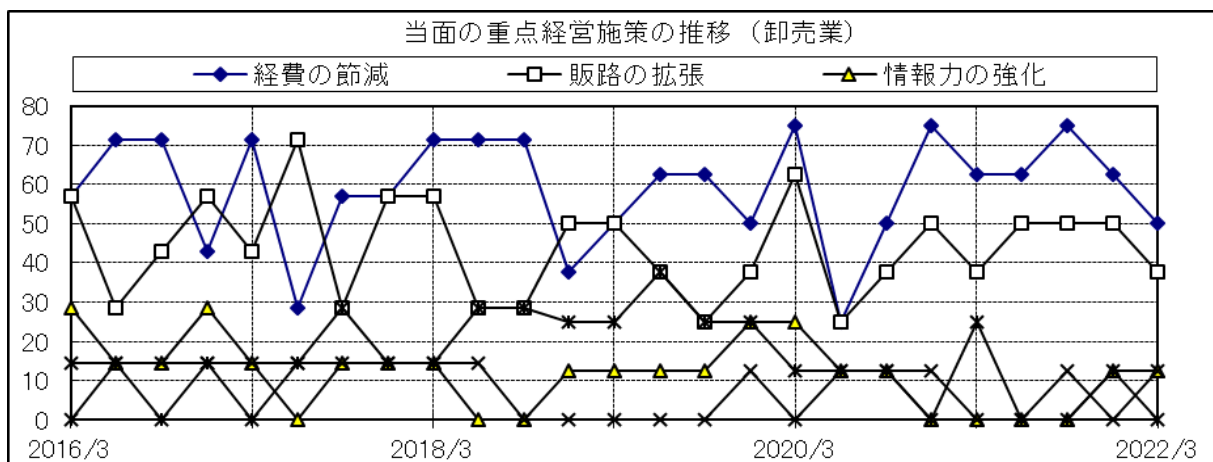
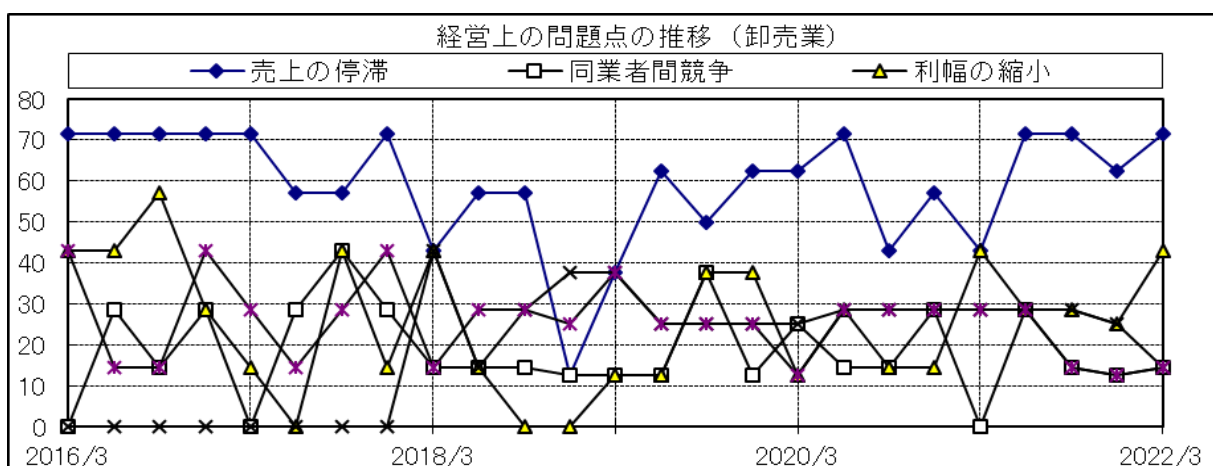
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。

設備実施企業割合は12.5で、前期(0.0)比12.5ポイント上昇した。設備投資は、前期0社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資予定は1社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が71.4%と最も多く、次に「利幅縮小」42.9%、「販売商品不足」・「値上要請」・「天候不順」が28.6%、「同業者競合」・「取引先減少」・「店舗老朽化」・「地場産業衰退」が14.3%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が50.0%と最も多く、次に「販路拡大」37.5%、「品揃え充実」・「労働条件改善」が25.0%、「情報力強化」・「新事業開始」・「流通経路見直し」・「取引先を支援」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△75.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は37.5と、今期比112.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は37.5と、今期比125.0ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は87.5と、今期比12.5ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は87.5と、今期と同水準を見通している。